

五戸総合病院での研修を終えて

令和6年1月

十和田市立中央病院 研修医 福士咲恵

十和田市立中央病院研修医の福士咲恵です。私は、令和5年12月中旬から令和6年1月初旬にかけて、五戸総合病院で4週間研修させていただきました。

主に内科として外来業務、病棟業務を行ったほか、夜間当直、訪問診療、手術、内視鏡も経験させていただきました。

全国的に地方の病院が苦境に立たされている中、五戸総合病院も人手不足や診療上の制限を感じざるを得ない環境でしたが、スタッフの皆さんが知恵と工夫を凝らして診療にあたっている様子が印象的でした。急性期の患者さんだけでなく、高次医療機関での治療後にリハビリや退院調整のために滞在する患者さんや、病院で穏やかに最期を過ごす患者さんも多くいらっしゃり、地域における五戸総合病院の役割の重要性を感じました。

内科常勤医師がいない状況で、患者さんの診断・治療・病状説明などを自分が主体となっ
て行い、大変責任ある仕事を任せていただきました。受け持った患者さんの症例は高血圧症、
脂質異常症、糖尿病、肺炎、尿路感染症、各種悪性腫瘍、心不全、腎不全、消化管出血など
多岐に渡りました。慣れない疾患への対応で悩むこともありましたが、困ったときは院長先
生はじめ外来、病棟スタッフの皆さんに助けていただき、なんとか業務を行うことができま
した。

自分で考え、悩み、勉強して1つ1つの課題に取り組み、成長を感じることができた4週
間でした。この研修を糧として、これからも研鑽を積み、医療に貢献していきたいと思いま
す。

短い間でしたが、院長先生はじめ五戸総合病院のスタッフの皆さん、一緒に研修した古谷
先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。